

～岩手県の中山間地域を元気にするプロジェクト～

平成28年地域政策研究センター(地域提案型・前期) 採択課題

課題名：農業生産活動がもたらす中山間地域への波及効果について

研究代表者：総合政策学部 教授 吉野英岐

課題提案者：岩手県農林水産部農村計画課

研究メンバー：鷲野健二、小野寺健一、菊池俊次、吉田長貴(岩手県農村計画課)

技術キーワード：いわて農業農村活性化推進ビジョン、モデル地区、学生提案

▼研究の概要(背景・目標)

岩手県は「いわて農業農村活性化推進ビジョン」を策定し、本格的な対策に乗り出している。ビジョンの策定・実施によって、農業振興による所得向上や雇用創出等の具体的な成果を生み出すべく、その手法開発と提示が喫緊の課題になっている。

▼研究の内容(方法・経過)

1.調査対象 洋野町大沢地区と釜石市橋野町地区

2.調査内容 ビジョンの実現に向けた課題の整理、
解決策の提示

3.調査期間 2016年10月、2017年2月

教員とが学生10名程度が1泊2日で訪問して、ワークショップ等を実施

▼研究の成果(結論・考察)

1.洋野町大沢地区では、特産品化を進めているキュウリの規格外品を活用したキュウリ風呂を提示。冬季イルミネーションについて、エントランス付近や入浴施設に飾ることで、来場者の興味を引き付ける方策を提案。

2.釜石市橋野町地区では、梅の栽培と生産、加工にむけて、美しい梅園、梅の加工品づくりなどが提案された。

▼おわりに(まとめ・今後の展開)

- 1.「いわて農業農村活性化推進ビジョン」の策定とモデル地区における活動はまだ緒についたばかりである。今後はこの施策が効果をあげていくために、有効な支援策や実施的な成果の測定を行っていく必要がある。
- 2.今後は活動の持続的な展開に必要な条件や要員の把握、そのための実践力を向上させる仕組みづくり、そしてビジョンの策定、実践に取り組む中山間集落の発掘と拡大を実現していかなければならない。
- 3.モデル地区における農業がもたらす様々な波及効果を地域活性化に取り組む集落や、行政機関、農業団体等の関係機関が共有していくこと。



出典：国立社会保障・人口問題研究所及び岩手県

【図1】岩手県の将来推計人口

